

## AI・MPS 創薬塾の講義内容

1. 医薬品開発の失敗から学ぶ
2. 探索段階での創薬代謝研究の進め方（医薬候補化合物選択）
3. 薬物代謝酵素の誘導と阻害に基づく小腸・肝の相互作用
4. 研究者の人生設計を DISC 理論から考える（自己診断評価）

### 講義内容

医薬品開発において、探索段階での創薬代謝・早期薬物動態の検討は医薬候補化合物の選択にとって重要である。なぜなら、臨床を予測して医薬候補化合物を選択しなければその後、臨床試験で開発を中止せざるを得ない事態を生じるからである。開発テーマの意思決定に必要な情報は過去に失敗した事例を知るとともに、その失敗を回避する *in vitro* 試験系（創薬代謝スクリーニング）の構築が重要である。